

第4, 5学年 国語科学習指導案

日時 平成25年 9月13日 (金) 5校時
児童 男2名 女6名 計 8名
指導者 雨森英明
今松尚志

(4年)

1 単元名 読んで考えたことを話し合おう

教材名 「ごんぎつね」

【指導事項】

- ◎ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。読(1)ウ
- ◎ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。読(1)エ
- ◎ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。読(1)オ

【関連する学習技能】

- ③登場人物と中心人物との違いについて理解できる。ウ
- ⑤場面の移り変わりを指摘できる。ウ
- ⑥場面や情景の移り変わりとともに登場人物の変化する気持ちを地の文や会話文、行動などからとらえることができる。ウ
- ⑦作品の特徴的な描写や効果的な表現方法を理解することができる。ウ

【言語活動】

- ◎ 友だちとリーフレットを紹介し合うという活動目標のもと、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などを叙述をもとに想像して読むこと。

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、四月教材「白いぼうし」において、登場人物の性格や気持ちを想像しながら読むこと、言葉に注目し、色やにおいなど五感に関わらせて情景を想像しながら読むことを学習している。三年下「モチモチの木」では場面ごとに人物の会話や行動を整理し、登場人物の人物らしさをつかむ学習を行った。それ以降の文学教材の学習でも、会話や行動から人物の人柄や心情を想像する学習を重ねている。

本単元につながる言語活動としては、三年上、「海をかつとばせ」で感想を発表し、三年下「ちいちゃんのかげおくり」では感想文を書いた。四年上「白いぼうし」では、音読劇をしようという活動目標を立て、場面の移り変わりに注意して読んだり、登場人物の性格を想像して読んだりする学習を行った。「一つの花」では、読書会をしようという活動目標を立て、物語の設定、登場人物の気持ち、情景などを読む学習を行った。

(2) 指導にあたって

1次では「物語を読み、考えたことを話し合う」ための自分の読み取ったこと、考えたことを「見ぬいちゃおうごんの兵十に対する気持ち」という内容のリーフレットにまとめ紹介し合い、ごんや兵十の行動や気持ちについて話し合うことを知らせ、そのための学習計画を立てる。

2次では、まず登場人物の行動に着目して大意をつかませる。次に「1」～「5」の場面の学習においてはごんの兵十に対する気持ちが大きく変わる瞬間を見つけさせ、そのときの行動をもとにごんの気持ちを「ずばりこれがごんの兵十に対する気持ち」としてまとめさせる。「6」の場面では兵十のごんに対する気持ちが大きく変わったことと、そのときのごんの気持ちをとらえさせ、「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」として書かせる。

3次では、まず2次でまとめた「ずばりこれがごんの兵十に対する気持ち」を貼り付けリーフレットを作成させる。その際、内容にごんの性格、気持ちの変化、情景や場面の移り変わりを自分の読み取りをもとに書き加えさせていく。次に、リーフレットを使い紹介し合い、自分の考えとの類似点や相違点などについて話し合い読みを深めさせる。

3 単元の目標

- ◎ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。読(1)ウ
- ◎ 物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友だちとの感じ方・考え方の違いに気づくことができる。読(1)オ

第4, 5学年 国語科学習指導案

日時 平成25年 9月13日(金) 5校時
児童 男4名 女3名 計 7名
指導者 雨森英明
今松尚志

(5年)

- 1 単元名 作品を自分なりにとらえ、朗読しよう
教材名 「大造じいさんとガン」

【指導事項】

- ◎ 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。読(1)ア
- ◎ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。読(1)エ

【関連する学習技能】

- ① 文章に対する思いや考えが伝わるように、朗読できる。ア
- ③ 人物の行動および会話や情景描写などをヒントにして、読み取ることができる。エ
- ④ 人物の行動の変化や、心情の転換点を読み取ることができる。エ
- ⑤ 情景描写や作者の思いに結び付く表現方法の工夫に気づくことができる。エ

【言語活動】

- ◎ 友だちに「推薦文を書き朗読を交えて紹介する」という活動目標のもと、登場人物の心情、場面についての描写をとらえ、すぐれた叙述について自分の考えをまとめ、自分の思いや考えが伝わるように朗読すること。

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、二年「ふきのとう」、三年「きつねの商売」、四年「白いぼうし」と、音読の学習を重ねてきた。中学年までは作品の内容を理解し、それを、音読の読む速さ、強さ、声の調子、間の取り方等に表してきた。五年「のどがかわいた」では、人物の関わり合いについての感想を書き交流しようという活動目標を立て、登場人物の関係の深まりや心情の変化を読む学習を行った。

(2) 指導にあたって

1次では、朗読をするためには自分なりに考えたことや感じたことが大切であることを理解させ、単元名・リード文から学習計画を立てさせる。朗読については、優れた叙述を「この表現が最高」として選び、朗読を交えて紹介することを知らせる。

2次では、まず「1」～「4」の場面の大意をつかませ大造じいさんと残雪が相互に関係し合っていることを押さえる。その上で、それぞれの場面で大造じいさんの残雪に対する気持ちの変化を読み取らせる。また、それぞれの場面について「この表現が最高」と思う部分を推薦したいこととして選ばせる。その際「～の表現は～が優れている。訳は～だと思っからです」という内容で推薦文を書かせる。「この表現が最高」として選ぶ観点としては、情景描写、人物の様子やその場の様子などが目の前に見えてくるような表現、作者の思いが表れている表現等を指導する。

3次では、2次で選んだ「この表現が最高」を朗読を交えて推薦するための練習をペアやグループで行う。そして、発表し感想を伝え合わせる。

3 単元の目標

- ◎ 自分の思いが伝わるように音読や朗読をするとともに、すぐれた叙述について自分の考えをまとめることができる。(1)ア エ
- 表現の効果である技法に関する知識を持ち、書いている。(書 1 オ)

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<p>叙述に着目して物語を読み、感じたことや考えたことを話し合おうとしている。</p>	<p>会話や心情表現、行動から人物の性格や気持ちを読み取っている。</p> <p>情景を表す語句に着目して読んでいる。</p> <p>人物の行動や性格、人物と出来事の関わりについて読み取り、感想をまとめている。</p>	<p>言葉には、考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気づいている。</p>

5 指導計画 (全10時間 本時8/9)

次	時	主な学習活動	評価規準 (☆評価の方法)
1 つかむ	1 2	<p>○「物語を読み、考えたことを話し合う」ことに意欲を持ち、学習の見通しを立てる。</p> <p>○ごんぎつねのあらすじをつかみごんの性格を読み取る。</p> <p>○「ごんぎつね」を読んで感想を持つ。</p>	<p>(関) 学習の見通しをもち、「物語を読み、考えたことを話し合う」という学習に意欲をもつことができる。</p> <p>☆観察・発言</p> <p>(読) 「ごんぎつね」を読んであらすじをつかみ感想をもつことができる。</p> <p>☆発言・ワークシート</p>
2 とらえ・ふかめる	3 4	<p>○「1」～「6」の場面について、ごんの気持ちが変わった瞬間を見つけ話し合い「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」に書き込む。</p>	<p>(読) 「1」～「6」の場面について、ごんの気持ちが変わった瞬間を見つけ話し合い「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」に書き込むことができる。</p> <p>☆発言・ワークシート</p>
	5 6	<p>○「1」「6」の場面についてごんの兵十に対する気持ちが分かる会話や行動を「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」に書き込む。</p> <p>○ごんの会話や行動に着目して、ごんの兵十に対する気持ちを読み取る。</p>	<p>(読) 「1」「6」の場面についてごんの兵十に対する気持ちが分かる会話や行動を「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」に書き込むことができる。</p> <p>(読) ごんの会話や行動に着目して、ごんの兵十に対する気持ちを読み取ることができる。</p> <p>☆発言・ワークシート</p>
	7	<p>○「6」の場面について、兵十のごんに対する気持ちの変化を読み取り、そのときのごんの気持ちを想像する。</p> <p>○くわしく読んで分かったことをもとに感想をまとめる。</p>	<p>(読) 「6」の場面について、兵十のごんに対する気持ちの変化を読み取り、そのときのごんの気持ちを想像することができる。</p> <p>(読) くわしく読んで分かったことをもとに感想をまとめることができる。</p> <p>☆発言・ワークシート</p>
3 つかう	8 本時	<p>○1～6の場面で考えた「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」を並べながら構想を立て、リーフレットをまとめる。</p>	<p>(読) 1～6の場面で考えた「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」を並べながら構想を立て、リーフレットをまとめることができる。</p> <p>☆観察・リーフレット</p>
	9	<p>○リーフレットを見せ合い互いの考えの類似点や相違点に気をつけながら、グループで話し合う。</p> <p>○話し合いで深まった考えを報告し合い、読みを深める。</p>	<p>(読) リーフレットを見せ合い互いの考えの類似点や相違点に気をつけながら、グループで話し合うことができる。</p> <p>(読) 話し合いで深まった考えを報告し合い、読みを深めることができる。</p> <p>☆観察・発言・ノート</p>

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
文章から読み取ったこと、自分なりに感じたことや考えたことを基に、朗読しようとしている。	自分が文章から受け取った印象を大事にして音声化している。 登場人物の心情を、会話や心情表現、行動を表す文・語句に着目して読んでいる。 場面についての描写など、独特の表現と作品全体の雰囲気との関係を考えている。	表現の効果である技法に関する知識を持ち、書いている。	言葉や表現に気をつけて、様子を想像している。

5 指導計画（全9時間 本時5／9）

次	時	主な学習活動	評価規準（☆評価の方法）
1 つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題名と前書きを音読し、そこから、どんな物語なのか想像する。 ○ 単元名・リード文から単元の学習課題を知る。 ○ 優れた表現を「この表現が最高」として選び、朗読を交えて推薦するための学習計画を立てる。 ○ 音読と朗読の違いを確認する。 	(関) 単元の学習の見通しをもち朗読することに意欲をもっている。 ☆観察・発言
2 とらえ・ふかめ	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1」の場面で情景「秋の日は、美しく輝いていました」について理解し、「ううむ。」と感嘆の声を漏らした大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。 ○ 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書く。 	(読) 「1」の場面で情景「秋の日は、美しく輝いていました」について理解し、「ううむ。」と感嘆の声を漏らした大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取ることができる。 (読) 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書くことができる。 ☆発言・ワークシート・観察
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「2」の場面で情景「あかつきの光が、小屋の中にすすがしく流れ込んできました。」を理解し、「ううん。」とうなってしまった大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。 ○ 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書く。 	(読) 「2」の場面で情景「あかつきの光が、小屋の中にすすがしく流れ込んできました。」を理解し、「ううん。」とうなってしまった大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。 (読) 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書くことができる。 ☆発言・ワークシート・観察
5 本時	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「3」の場面で情景「青くすんだ空を見上げながら、にっこりとなりました。」「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」について理解し「あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ」と思った大造じいさんの気持ちを読み取る。 ○ 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書く。 	(読) 「3」場面で情景「青くすんだ空を見上げながら、にっこりとなりました。」「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」について理解し「あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ」と思った大造じいさんの気持ちを読み取ることができる。 (読) 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書くことができる。 ☆発言・ワークシート・観察
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「3」の場面で情景「羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散りました。」について理解し、ただの鳥に対してのような気がしなかった大造じいさんの気持ちの変化について考える。 	(読) 「3」の場面で情景「羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散りました。」について理解し、ただの鳥に対してのような気がしなかった大造じいさんの気持ちの変化について考えることができる。

6 本時の指導

(1) 目標

- 構想をもとにごんの気持ちや変化、情景、場面の移り変わり兵十のごんに対する気持ちの変化が分かるように「見ぬいちゃおう、ごんの兵十に対する気持ち」リーフレットにまとめることができる。

(2) 具体の評価規準

満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援
<p>「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」を使い、ごんの気持ちや変化、情景、場面の移り変わり、兵十の気持ちの変化を端的に整理し分かりやすくリーフレットにまとめることができる。</p>	<p>「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」を使い、ごんの気持ちや変化、情景、場面の移り変わり、兵十の気持ちの変化が分かるようにリーフレットにまとめることができる。</p>	<p>ごんの気持ちの変化や兵十の気持ちの変化をどのように表すかを教師と考えさせる。 どの場面の情景を選んで書くかを考えさせる。 場面の大きく変わる文はどれかを教師と一緒に考えさせる。</p>

	○ 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書く。	(読) 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書くことができる。 ☆発言・ワークシート・観察
6	○ 「4」の場面で情景「らんまんとさいたコスモスの花が～散りました」について理解し、いつまでも見守っていた大造じいさんの気持ちを「1」～「3」で学習したことと比較して考える。	(読) 「4」の場面で情景「らんまんとさいたコスモスの花が～散りました」について理解し、いつまでも見守っていた大造じいさんの気持ちを「1」～「3」で学習したことと比較して考えることができる。 ☆発言・ワークシート・観察
3 つ か う	7 ○ 朗読を交えて「この表現が最高」を推薦するためにペアやグループでお互いに聞き合い練習をする。	(読) 朗読を交えて「この表現が最高」を推薦するためにペアやグループでお互いに聞き合い練習をすることができる。 ☆発言・観察
	8 ○ 「この表現が最高」を朗読を交えて推薦する。	(読) 「この表現が最高」を朗読を交えて推薦することができる。 ☆発表・発言
	9 ○ 残雪とハヤブサの戦いの場面の描き方を参考にして、短い文を続けて行動を表す書き方の工夫に気づき、それを使って文章を書く。	(書) 残雪とハヤブサの戦いの場面の描き方を参考にして、短い文を続けて行動を表す書き方の工夫に気づき、それを使って文章を書く。 ☆発言・ノート・観察

6 本時の指導

(1) 目標

- 「3」の場面で情景「羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散りました。」について理解し、ただの鳥に対してのような気がしなかった大造じいさんの気持ちの変化について考える。
- 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書く。

(2) 具体の評価規準

満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援
戦いの激しさを表した情景「羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散りました」の良さを考えまとめることができる。 ただの鳥に対してのような気がしなかった大造じいさんの気持ちを表した表現の良さを考えまとめることができる。 情景や人物、場所の様子を「この表現が最高」として選び推薦文を書くことができる。	戦いの激しさを表した情景「羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散りました」の良さを考えることができる。 ただの鳥に対してのような気がしなかった大造じいさんの気持ちを表した表現の良さを考えることができる。 「この表現が最高」を選び推薦文を書くことができる。	教師がこの場面の様子を説明し激しさをつかませる。 残雪の様子の方文を教師と探しそれを見た大造じいさんの気持ちを考えさせる。 本時学習した情景や人物、場所の様子で何を推薦したいと思うか教師と相談して決めさせる。

(2) 展開

4年生		5年生		
指導上の留意点	学習活動 ●主な発問○期待する児童の反応	直 間	直 間	
<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習でリーフレット「見ぬいちゃおう、ごんの兵十に対する気持ち」の作り方を学習したので、本時は、構想をもとにリーフレットを完成させることを確認する。 	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「見ぬいちゃおう、ごんの兵十に対する気持ち」を完成させよう。 </div>	つ か む 5 分	つ か む 5 分	
<ul style="list-style-type: none"> リーフレットを作る手順を説明する。 ごんの気持ちの変化を伝えるために「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」をどのように配置するかを4つ切り画用紙の上に並べて考えさせる。 T2が机間指導しながら進めさせる。 リーフレットに場面の移り変わり、登場人物の性格、気持ちの変化、情景文章の引用、長文の要約が入っているか確かめさせる。 	2 リーフレットにまとめる。 ●「見ぬいちゃおう、ごんの兵十に対する気持ち」を作ります。画用紙の上に「ずばり、～」を並べましょう。 ○ ごんの行動や気持ちの変化が伝わるように自分の考えで並べていく。 ● どのように並べたか説明して下さい。 ○ 並べて意図を説明する。 3 リーフレットを完成させる。 ○ 教科書を振り返りながら必要な文を引用する。 ○ 引用文が長い場合は要約する。 ○ 場面の移り変わり、登場人物の性格、気持ちの変化等必要なことが書かれているかを確かめる。	深 め る 3 分	深 め る 3 分	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (評価) 構想をもとにリーフレットをまとめ、ペアやグループで紹介し合い、完成させることができる。(観察・リーフレット) </div>			
			1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「3」の場面の後半を情景や大造じいさんの気持ちの変化に気をつけて「この表現が最高。」を書こう。 </div>	
			2 すぐれた表現を見つけ話し合う。 □ すぐれた表現だと思うところを見つけ『』をつけましょう。 □ 話し合います。理由をつけて発表して下さい。 ○ 大造じいさんは～じゅうを下ろしてしまいました。」気持ちが大きく変わっているとは書いていないけれどそのことが分かるから。 3 児童の話し合いをもとに、すぐれた表現について読み取る。 ●「羽が～飛び散りました。」の表現としての良さはなんだと思いますか。 ○ 美しい風景と戦いの激しさが表現されていること。 ○ 激しく戦いましたと書いていないところ。 ●「残りの力を～努力しているようでもありました。」の表現としての良さはなんだと思いますか。 ○ 大造じいさんの気持ちが～と思いましたとか、～と考えましたとは書いていないがよく分かる。 ○ 大造じいさんの残雪に対する見方がよく表されている。 4 推薦文を書く。 ● 「この表現が最高」を書きます。情景や、大造じいさんの気持ちの変化、作者の思いがよく表現されているところを選んで推薦文を書きましょう。	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (評価) 情景からその場の様子や戦いの激しさを読み取ったり、大造じいさんの行動から気持ちの変化を読み取ったりしたことから「この表現が最高」を書くことができる。(観察・ワークシート) </div>	
<ul style="list-style-type: none"> 次時に向けて意欲が持てるよう本時の頑張りをほめる。 	6 学習を振り返り次時の確認をする。 ● 次の時間は、リーフレットを紹介し、自分の感じたことや考えたことについて話し合います。	ま と め る 7 分	ま と め る 7 分	
			5 学習を振り返り次時の確認をする。 ● 次の時間は「4」の場面の中から「この表現が最高」を書きます。	
			<ul style="list-style-type: none"> リーダーを中心にして、すぐれた表現を見つけ理由をまとめさせる。 児童が考えたことについてはしっかりと認める。 話し合いが進まない場合はT2が支援する。 間接指導時の板書に対して補足させながら読み取りを深めていく。 戦いの激しさとともに、白花びらのようにすんだ空に散っている光景を想像させる。 この表現は、作者が、大造じいさんにはそのように見えた表現することで、大造じいさんが敬意のような気持ちを抱いていることに「ふりしぼって」「にらみつけました。」「ありました。」を手がかりにして気づかせる。 自分が朗読を交えて推薦したい場面を、すぐれた表現を含めて選ぶようにさせる。 	
			<ul style="list-style-type: none"> 次時に向けて意欲が持てるよう本時の頑張りをほめる。 	

第4・5学年国語科学習指導案

(修正版)

〔児童の実態に合わせて、5年生の指導過程を半分上にずらしました。
指導計画上では、5年生の指導計画を半時間分上にずらしております。〕

【第4学年】

6 本時の指導

(1) 目標

- 構想をもとにごんの気持ちや変化、情景、場面の移り変わり兵十のごんに対する気持ちの変化が分かるように「見ぬいちゃおう、ごんの兵十に対する気持ち」リーフレットにまとめることができる。

(2) 具体の評価規準

満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援
「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」を使い、ごんの気持ちや変化、情景、場面の移り変わり、兵十の気持ちの変化を端的に整理し分かりやすくリーフレットにまとめることができる。	「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」を使い、ごんの気持ちや変化、情景、場面の移り変わり、兵十の気持ちの変化が分かるようにリーフレットにまとめることができる。	ごんの気持ちの変化や兵十の気持ちの変化をどのように表すかを教師と考えさせる。 どの場面の情景を選んで書くかを考えさせる。 場面の大きく変わる文はどれかを教師と一緒に考えさせる。

【第5学年】

6 本時の指導

(1) 目標

- 「4」の場面においていつまでも見守っていた大造じいさんの気持ちを考える。
- 学習をふり返り、「この表現が最高」を選び推薦文を書く。

(2) 具体の評価規準

満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援
「3」の場面後半の「この表現が最高」を大造じいさんの心情に触れながら書くことができる。 「4」の場面でいつまでも見守っていた大造じいさんの気持ちを「堂々と戦おうじゃないか」を手がかりに「1」～「3」の場面と比較して考えることができる。	「3」の場面後半の「この表現が最高」を書くことができる。 「4」の場面でいつまでも見守っていた大造じいさんの気持ちを「堂々と戦おうじゃないか」を手がかりに考えることができる。	T2が机間指導をしながら、すぐれた表現を見つけさせる。 「ガンの英雄」や「えらぶつ」などから残雪をどうとらえているかを教師と一緒に考える。

(2) 展開

4年生			5年生		
指導上の留意点	学習活動 ●主な発問○期待する児童の反応	直 間	直 間	学習活動 ●主な発問○期待する児童の反応	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ごんの気持ちを分かりやすくリーフレットにまとめることを確認する。 	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「見ぬいちゃおう、ごんの兵十に対する気持ち」を完成させよう。 </div>	つ か む 5 分	つ か む 5 分	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「3」の場面後半の「この表現が最高」を書き、「4」の場面を大造じいさんの気持ちに気をつけて読もう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「3」の場面の後半から「この表現最高」と思える部分を見つけ推薦文を書き、4の場面を読み取ることを知らせる。 作者の思いについても考えることを知らせる。
<ul style="list-style-type: none"> 一番伝えたいごんの気持ちを紹介するためには、どのように配置すればよいかを考えさせる。 児童が並べたものを例に使い書き込み方を確認する。 T2が机間指導しながら進めさせる。 リーフレットに場面の移り変わり、登場人物の性格、気持ちの変化、情景文章の引用、長文の要約が入っているか確かめさせる。 	2 リーフレットの構想を考える。 ● 「見ぬいちゃおう、ごんの兵十に対する気持ち」を作ります。「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」の中で一番紹介したいごんの気持ちを選びましょう。 ○ ごんの行動や気持ちの変化が伝わるように自分の考えで並べていく。 ● どのように並べたか説明して下さい。 ○ 兵十に撃たれてしまったが分かってもらえてうれしいを紹介したいです。 3 リーフレットを完成させる。 ● ごんの行動や気持ちが変わる瞬間、ごんの変化や会話などを書き込みます。「1」から「6」の場面で考えた瞬間をどこに書き込みたいですか。 ○ 気持ちの前に大きく書きたいです。 ● 他のことについても考えて書き込みましょう。 ○ 教科書を振り返りながら必要な文を引用する。 ○ 引用文が長い場合は要約する。 ○ 場面の移り変わり、登場人物の性格、気持ちの変化等必要なことが書かれているか確かめる。 □ ペアで紹介し合って下さい。紹介し終わったら付け足しをして完成させましょう。	深 め る 3 分	深 め る 3 分	2 すぐれた表現を見つけ話し合う。 □ 前の時間に学習したことをもとに、伝えたいことを書きましょう。 □ 伝えたいことが書いてあるところに『』をつけましょう。 □ その中ですぐれた表現だと思うところに番号をつけて理由を書きましょう。 □ この表現が最高を書きましょう。 3 「4」の場面について読み取る。 ● また堂々と戦おうじゃないかとはどういう意味ですか。 ○ ひきょうなことはしない。 ○ 知恵を働かせて戦う。 ● 大造じいさんはどんな気持ちで残雪を見守っていましたか。 ○ 自分のライバルや友だちを見送るような気持ち。 ○ 来年また正々堂々と戦おうという気持ち。	<ul style="list-style-type: none"> リーダーを中心にして、すぐれた表現を見つけ理由をまとめさせる。 児童が考えたことについてはしっかりと認める。 話し合いが進まない場合はT2が支援する。 T2は話し合いの様子を記録する。 大造じいさん自身が全力を尽くして戦いたいと願っていることを「ひきょう」や「堂々」という言葉から考えさせる。 「英雄」や「えらぶつ」という言葉から残雪に対する思いを考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (評価) 構想をもとにリーフレットをまとめ、ペアで紹介し合い、完成させることができる。 (観察・リーフレット) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (評価) 前時で読み取ったことをもとに「3」の場面後半の『この表現が最高』を書くことができる。大造じいさんの行動から気持ちを読み取ることができる。 (観察・ワークシート) </div>				
<ul style="list-style-type: none"> 次時に向けて意欲が持てるよう本時の頑張りをほめる。 	6 学習を振り返り次時の確認をする。 ● 次の時間は、リーフレットを紹介し、自分の感じたことや考えたことについて話し合います。	ま と め る 7 分	ま と め る 7 分	5 学習を振り返り次時の確認をする。 ● 次の時間は「4」の場面の中から「この表現が最高」を書きます。	<ul style="list-style-type: none"> 次時に向けて意欲が持てるよう本時の頑張りをほめる。

(4) 板書計画

<4年生>

<p>「見ぬいちやおう、ごんの兵十に対する気持ち」を完成させよう。</p>	<p>ごんぎつね</p>
<p>学習の進め方</p>	
<p>1 画用紙の上に「ずばり、これがごんの兵十に対する気持ち」を画用紙の上にならべる。</p>	
<p>2 場面の移り変わり、登場人物の性格、気持ちの変化、情景、文章の引用などを画用紙に書き加える。</p>	
<p>3 たしかめる。</p>	

<5年生>

<p>大造じいさんとガン</p>	<p>「3」の場面の後半を情景や大造じいさんの気持ちの変化に気をつけて「この表現が最高」を書こう。</p>
<p>間接指導時の学習の内容</p>	
<p>すぐれた表現とその理由</p>	
<p>○「大造じいさんはくじゅうを下ろしてしまいました。」 気持ちが大きく変わっているとは書いていないけれどそのことが分かるから。</p>	
<p>○「羽が飛び散りました。」 情景だから</p>	
<p>○「残りの力をく努力しているようでもありません。」 残雪の様子がよく分かる</p>	
<p>情景</p>	
<p>○美しい風景と戦いの激しさが表現されていること。 ○激しく戦いましたと書いていないところ。</p>	
<p>残雪と向かい合う</p>	
<p>○「くと思いましたが」とか「くと考えました」とは書いていないが、大造じいさんの気持ちがよく分かる。 ○大造じいさんの残雪に対する見方がよく表されている。</p>	